

### [サケプロジェクト経過]

湯梨浜町として天神川のサケ飼育放流プロジェクトに参加しています。サケの飼育を通して、天神川を含めたふるさとの自然や小さいのちを大切にしようとする心を多くの人に広げようという取り組みで、役場のほか、町内の幼稚園、保育所でも飼育しています。

平成24年12月11日に発眼卵（卵の中に目ができる）を受け取りました。サケの卵にとって直射日光（紫外線）は大敵のため、水槽全体をスクリーンで覆っています。（こちらの水槽は役場羽合庁舎正面玄関に設置していますので、ご自由にご覧下さい。）



（平成24年12月12日撮影）

### [12月17日]

卵の一つから、しっぽが出てきました。



（平成24年12月17日撮影）

[12月19日]

間もなくふ化が始まります。サケの子は、卵の中で酵素を出してカラを溶かしていくので、ふ化前に卵の色が変わります。（卵が透明になってきて、卵の中でサケの子がぐるぐる泳ぎ始めるのも分かります。）



（平成24年12月19日撮影）

[12月21日]

多くの卵からふ化が始まりました。頭から出てくるもの、しっぽから出てくるもの、なかなかカラが取れないで大騒ぎするもの、人間と一緒に色々な個性があります。ふ化の時期もまちまちで、早いものと遅いもので、10日以上の差があるそうです。



（平成24年12月21日撮影）



(平成24年12月21日撮影)

[12月26日]

ほぼ完全にふ化しました。ふ化したばかりのサケの子どもたちは、おなかにオレンジ色の大きな栄養袋（さいのう）を持っています。何箇所かに集まると花が咲いたように見えてとてもきれいで。サケの子どもたちにとっても光は大敵のため、水槽はまだスクリーンで覆われたままで。おなかの中の栄養で育っていくのを暗いところでじっと待ちます。



(平成24年12月26日撮影)

〔1月4日〕

年が明けました。水槽をのぞいてみると、年末からあまり姿は変わらないものの、動きが機敏になり、大きなおなかで水槽の底をよく移動するようになりました。

〔1月10日〕

サケの子どもたちの様子も変わってきました。おなかの栄養袋が少し小さくなっています。まだ水槽の底でじっとしているもの、少しずつ泳ぎ始めるもの…ふ化の時期が違うので、成長にも少し差があります。



(平成25年1月10日撮影)

〔1月15日〕

よく動くようになりました。水槽の上部まで泳ぐものもいます。  
でも、きゅうくつそうに水槽のすみに集まっている姿もよく見かけます。習性でしょうか？

〔1月18日〕

動きが活発になってきました。水槽の中ほどを水流に逆らって泳ぐ姿が見られます。  
1週間でずいぶん成長しました！！

〔1月22日〕

全てのサケの子どもたちが浮上したので、水槽全体を覆うスクリーンを取り外しました。  
急に明るくなつたせいか、びっくりしたように泳ぎまわるサケの子どもたち…。  
おなかの栄養袋（赤い部分）がまだ残っているので、エサやりはもう少し我慢です。  
(消化器官が未発達だと、エサを食べると死んでしまうこともあるのだとか。)

〔1月28日〕

おなかの栄養袋が見えなくなりました。底にいることもなくなったので、初めてエサを与えてみました。一が、エサだと認識されなかったのか、サケの子どもたちは全く関心を示さず・・・。エサが水面を漂っていても、食べる気配がありません。しばらく観察していると、3匹ほど水面にあがったものの、すぐに水槽の中ほどに降りていってしました。次回は食べてくれますように・・・。

★水槽を観察していると、「これは何の魚ですか?」と声をかけてくださる方があります。「メダカ?」と尋ねられる方も多いです。



(平成25年1月29日撮影)

〔2月1日〕

水槽にえさを入れると少し反応するようになりました。のんびりですが、食べてくれているようです。

〔2月19日〕

サケの子どもたちの中に、弱ったものがちらほら・・・。病気かもしれないで、数匹は別の容器に移し替え、水槽の水換えを行いました。元気になりますように。

★水槽の前で作業をしていると、玄関を通るお客様がよく声をかけてくださいます。今日は、「個人でもサケの飼育放流に参加ができますか?」と尋ねてくださった方がありました。天神川のサケ飼育放流プロジェクトには、個人・ご家族でも参加ができます。この取組の輪がさらに広がりますように!

〔2月22日〕

水換えをしたのに、なかなか水がきれいになりません。今日は水換えとあわせて水槽の掃除を行いました。水質の安定を考えると、あまり頻繁に水換えをするのはよくないのでですが、サケがかすむほど白く濁るとやはり気になります・・・。



〔2月26日〕

エサをよく食べるようになりました。水槽にエサを入れると、活発に動き回ってエサを取っています。お腹まわりもしっかりして見えます。

サケの放流日が3月10日に決まりました！あと2週間、なんとか元気に川にかえしてあげたいものです。



(平成25年2月26日撮影)

〔3月10日〕

いよいよ放流です。寒空の下でしたが、天神川・東郷湖サケ飼育放流プロジェクトの参加者が集まり、昨年12月から育てていたサケの稚魚を天神川に放流しました。この日は、天神川漁業協同組合が育てた約7万尾の稚魚も放流されました。



天神川河川敷に集合し、放流の方法を  
教わりました。



各自、放流場所を探します。



「元気でね！」「頑張ってね！」と声をかけながら、旅立ちを見守ります。



天神川漁業協同組合が育てた7万尾の稚魚  
の放流が始まりました。



透明なホースの中を稚魚が流れています。



役場で育てたものとはかなり大きさが違いました。

(平成25年3月10日撮影)

湯梨浜町では、来年以降もこの取り組みに参加します。この取組の輪がさらに広がるよう、そして、いつまでも子どもたちの心に、ふるさとの自然や小さな命を大切にしようとする気持ちが残るよう、このプロジェクトに参加、協力していこうと思います。